

2020 進路先アンケート

卒業生のプロアクティブ行動への ニーズ(期待)と充足

山梨学院大学
学習・教育開発センター

調査の狙い・項目

- ・教育の効果・成果を、進路先からのフィードバックを通して可視化することを試みる
- ・具体的には、「プロアクティブ行動」を指標とする
- ・プロアクティブ行動について①ニーズ、②充足度、の2点を尋ね、充足度を確認する

回答状況

2017~2019の卒業生進路先に回答を依頼。169社様よりご回答いただいた。

出現値	度数	確率(%)
金融・保険業	5	2.96
製造業	24	14.20
建設業	19	11.24
卸売・小売業	34	20.12
その他サービス業	24	14.20
医療、福祉	11	6.51
公務	2	1.18
情報通信業	15	8.88
運輸業、郵便業	7	4.14
不動産業、物品賃貸業	6	3.55
宿泊業、飲食サービス業	11	6.51
学術研究、専門・技術サービス業	5	2.96
教育、学習支援業	2	1.18
農、林、漁、鉱業	1	0.59
電気・ガス・熱供給・水道業	3	1.78
欠損値	0	0.00
合計	169	100

質問項目

16項目のプロアクティブ行動に関する項目に対し、①ニーズ、②充足、の2つの観点より回答を求めた(次ページに示す)。

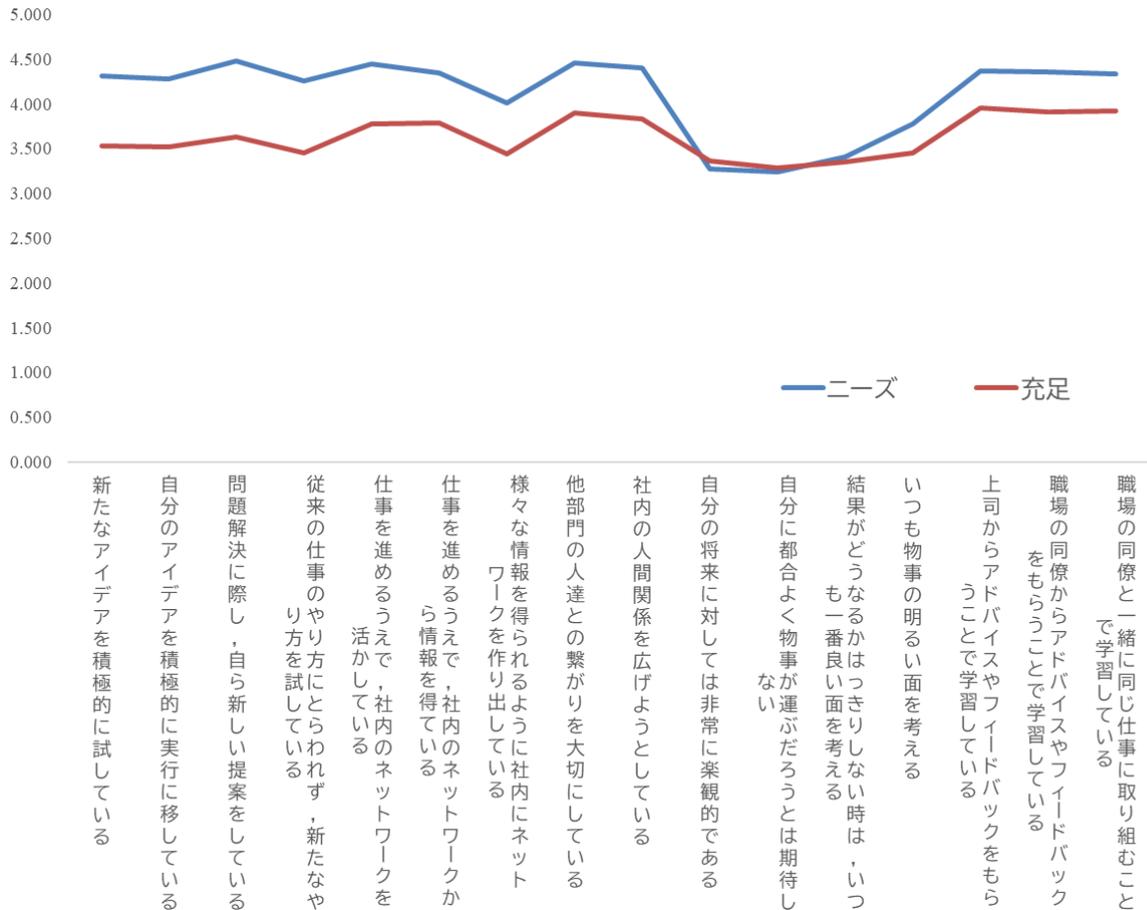
①ニーズ

Q3 貴社・貴団体では、以下のことを従業員に求めていますか(部署等に応じて異なると思いますが、おおむね、というイメージでご回答いただければと思います)

②充足

Q4 本学出身の入職者は、以下の項目をどれくらい実行できていますか(出身者によって個人差があると思いますが、おおむね、というイメージでご回答いただければと思います)

プロアクティブ行動のニーズと充足 平均値



- ニーズの高い項目には「社内の人間関係を広げようとしている」「他部門の人たちとのつながりを大切にしている」などがあつた
- ニーズの低い項目には「自分の将来に対しては非常に楽観的である」などがあつた
- 充足度をニーズが下回っている傾向がみられた
- 充足度の高い項目として「自分の将来に対しては非常に楽観的である」「自分に都合よく物事が運ぶだろうとは期待しない」「結果がどうなるかはっきりしないときは、いつも一番良い面を考える」が該当した。これらは、そもそもニーズが低いことが特徴であつた

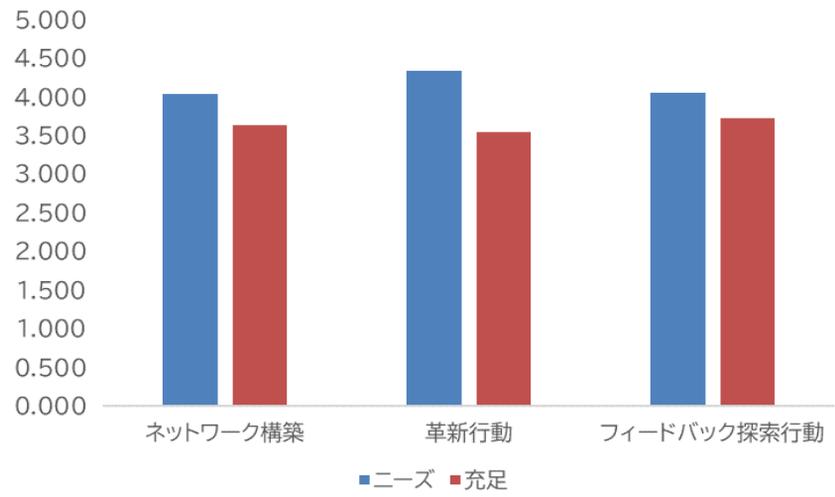
プロアクティブ行動のニーズと充足 平均値(産業別)

プロアクティブ行動へのニーズと充足のバランスを、産業別に確認するにあたり、項目を因子に圧縮した(因子分析)ところ、「ネットワーク構築」「革新行動」「フィードバック探索行動」に大別された

- F1 「ネットワーク構築」
- F2 「革新行動」
- F3 「フィードバック探索行動」

項目	Factor1	Factor2	Factor3
ニーズ_仕事を進めるうえで、社内のネットワークから情報を得ている	.835	-.024	-.040
ニーズ_仕事を進めるうえで、社内のネットワークを活かしている	.805	.020	-.006
ニーズ_他部門の人達との繋がりを大切にしている	.696	.021	-.049
ニーズ_様々な情報を得られるように社内にネットワークを作り出している	.626	.122	-.115
ニーズ_社内の人間関係を広げようとしている	.612	-.057	.119
ニーズ_自分に都合よく物事が運ぶだろうとは期待しない	.247	-.073	.088
ニーズ_自分の将来に対しては非常に楽観的である	.215	.008	.083
ニーズ_新たなアイデアを積極的に試している	-.072	.947	-.053
ニーズ_自分のアイデアを積極的に実行に移している	-.056	.890	.001
ニーズ_問題解決に際し、自ら新しい提案をしている	.131	.612	.111
ニーズ_従来の仕事のやり方にとらわれず、新たなやり方を試している	.104	.504	.158
ニーズ_職場の同僚からアドバイスやフィードバックをもらうことで学習している	-.043	-.008	.939
ニーズ_上司からアドバイスやフィードバックをもらうことで学習している	.047	.000	.849
ニーズ_いつも物事の明るい面を考える	-.019	.095	.438
ニーズ_職場の同僚と一緒に同じ仕事に取り組むことで学習している	.313	-.067	.327
ニーズ_結果がどうなるかはっきりしない時は、いつも一番良い面を考える	.000	.044	.302

因子ごとに、ニーズと充足の平均をプロットした
どの因子においても充足度はニーズを下回っていた

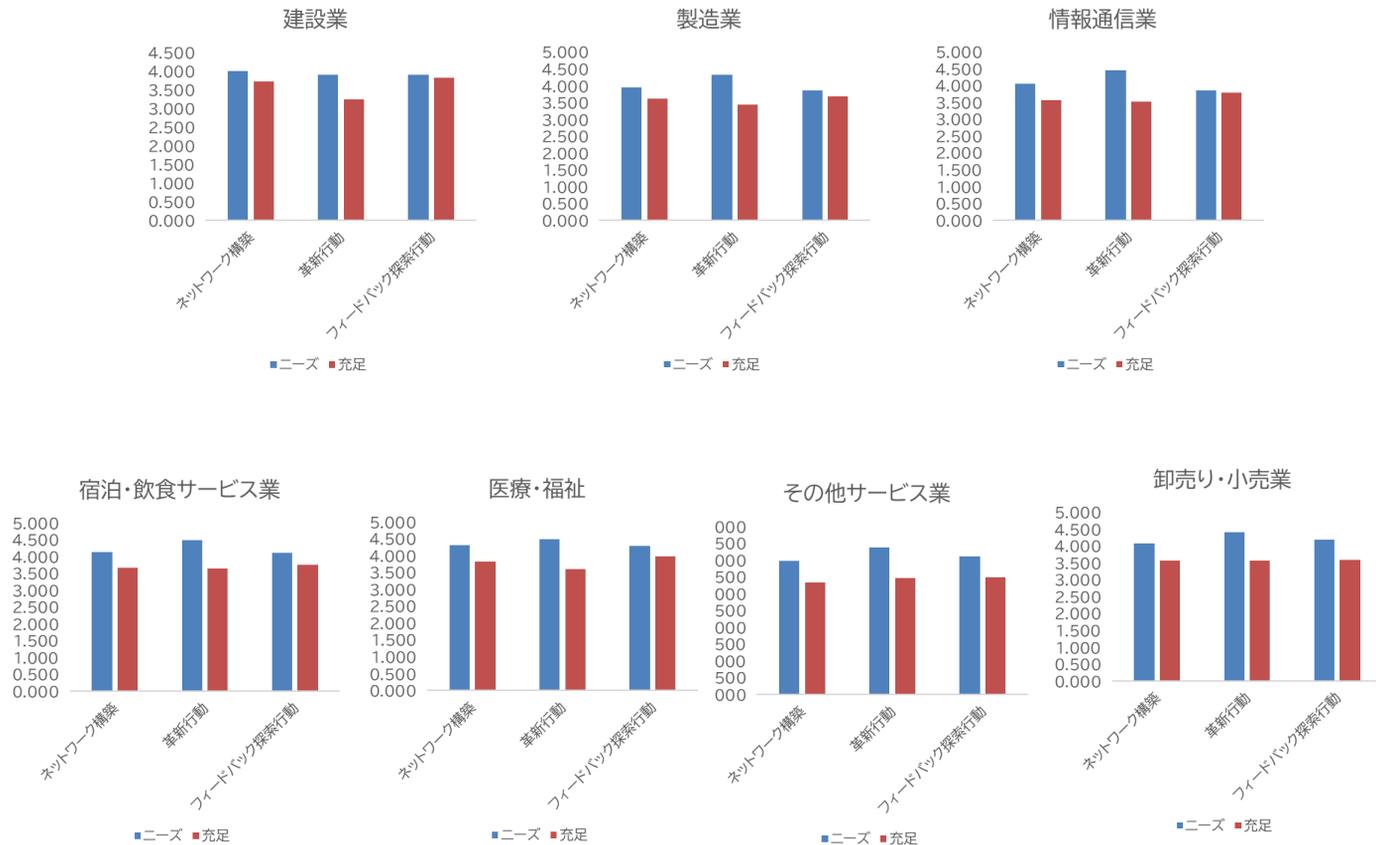


検定統計量(対応のある t検定)

ネットワーク構築	$t(168)=7.357, d=.671, p<.000$
革新行動	$t(168)=11.797, d=.808, p<.000$
フィードバック探索行動	$t(168)=5.767, d=.505, p<.000$

プロアクティブ行動のニーズと充足 平均値(産業別)

プロアクティブ行動のニーズと充足の平均値を産業別にプロットした(回答企業数が10以上のみ)。



産業によらず、充足度がニーズを下回っている傾向がみられた

まとめ

結果のまとめ

ニーズの高いプロアクティブ行動

「社内の人間関係を広げようとしている」
「他部門の人たちとのつながりを大切にしている」など

ニーズの低いプロアクティブ行動

「自分の将来に対しては非常に楽観的である」
「自分に都合よく物事が運ぶだろうとは期待しない」など

ニーズに対する充足度

全体的に充足度はニーズを下回り
その傾向は産業領域によらず一貫していた

インプリケーション

- ・内定先は内定者に対し、プロアクティブ行動を一定程度求めていることがわかった
- ・プロアクティブ行動の充足度はニーズを満たすには至っていないことが示唆された
- ・別の調査(対学生調査)から、学生のプロアクティブ行動は大学の授業や、自主的な勉強など、学業を通じて獲得が実感される可能性が示唆されている
- ・カリキュラム改革を引き続き押しすすめ、進路先企業・団体様の評価を追跡していきたい

謝辞

ご多用中に突然の調査依頼に過分にもご協力をくださった進路先、ならびにご担当者様に記して心より御礼を申し上げます。